

# 事業報告

自 平成23年4月1日

至 平成24年3月31日

## 1. 総括的概要

平成23年3月11日午後2時46分。突如端を發した東日本大震災。誰もが皆、甚大な被害の情報をただ眺めるだけの数日間であった。しかし、日本全土のみならず全世界から続々と手厚い支援の手が被災地へと向けられた。この姿を見た我々同士は正に【東方の光】として被災地へ赴き、わずかばかりながらも支援をすることができた。この一つの支援事業が、今年度の三沢市商工会青年部の運営方針に大きな変化をもたらすには十分な出来事となった。

依然として日本全国が暗穩な雰囲気の中、通常総会にて【東方より光を】をスローガンに動き出した我々は、MIC主催のアメリカンデーの支援事業をかわきりに三沢湖水祭りや三沢国際サマーフェスティバル、うめーど in 平川、ピザ1グランプリ、となみウィンターファンタジー、さよならとうてつなどの支援事業。数々の事業において存分にマンパワーを發揮し、また、震災復興支援事業として、三沢・久慈間での交流事業においても多数のメンバーの参加を擁して、大成功を収める事が出来ました。

さらに、主幹事業である【みさわ七夕祭り】は、3日間を通じ多数の来場者に恵まれ、公会堂においてのテレビ番組「開運なんでも鑑定団」の誘致、小比類巻貴之選手や西島洋介さんによるパフォーマンスやダンスコンテスト、3on3トーナメントなど多くのご協力者の力添えをいただき、大盛況を収める事が出来、会場内においての収益事業や設営に関する事業に関しては、外郭団体との協力体制の下、迅速かつ賑やかな運営をすることができました。

つづいて、【クリスマスフェスティバル】は、飾付事業はさることながら、特に【あなたの優しさ届けます】事業に関しては、心温まる皆様からの善意を被災された淋代保育所にお届けすることができたのは、三沢に生きるものとして大変うれしく感慨深い事業となりました。また、【三沢市商工会青年部とはなんぞや】というテーマのもと、各々個人個人がどのように活動に関わっていくのかという議論をする事が出来たことは、これから将来に向けてよりよい組織になっていく礎になるものと考えます。

常に活動し続けてきたこの1年間。青年部に在籍するものとして、三沢に生きるものとして、また震災の後に生かされたものとして、今年度の我々の活動は微かながらでも【東方の光】になれたのではないかと感じております。

最後に共に汗と涙を流してくれた仲間や、ご協力を賜りました皆様に心より感謝するとともに、震災によって被害を受けられた皆様にエールを送り、また今後の復興の光が輝かしく被災の地を照らしてくれることを期待します。

平成23年度 三沢市商工会青年部  
部長 安田 勝司